

故伊藤先生ノ思出デ話

京城帝國大學醫化學教室

佐藤剛藏

私ハ明治三十九年十二月丁度醫學部開始後第四回目ノ卒業デアツテ
 翌四十年六月渡鮮セネバナラヌコトニナツタ。歲華流レテ茲ニ二十
 三年トナリ未ダニコノ地ニブラツイテ居ル。卒業後ハ猪子伊藤兩先
 生ノ外科ニ御世話ニナリ先輩トシテ鳥瀉博士ノ恩顧ヲ蒙ツタ。同博
 士ニハ先般渡歐其節京城ニ立寄ラレタガ談偶々伊藤先生ノコト一及
 ビ何カ先生ノ思出デ話ヲ書ケトノコトデ思ヒ付イタマ、ニツ計リ書
 イテ見タ。

一、朝鮮ト私トノ關係ハ故伊藤先生ノ御指命ニ依リ始マツタノデア
 ル。明治四十年當時醫科大學長ハ荒木先生デ附屬醫院長ハ伊藤先
 生デアツタガ兩先生ヲ始メ時ノ諸先生ハ其ノ若イ大學ノ出身者ヲ
 徹底的ニ世話セラレタ。而シテ今日ノ京大醫學部ノ基礎ヲ建設セ
 ラレタコトハ誠ニ感謝セネバナラヌコト、思フ。「事ノ成ルハ成
 ルノ日ニ成ルニ非ズ、由テ來ルコト遠シ」トドモイハネバナラ
 ヌ。或日伊藤先生一ハ私ニ「君ニハ朝鮮半壤ヘ行ツテ貰ヒタイ。
 朝鮮ハ將來發展スルトコロゴト思フ」トイフヤウナ話デアツタ。
 朝鮮ハ當時韓國デ日本カラ見レバ外國デアツタノデ「私モ外國ヘ
 行クノデスカラ一度自宅ヘ照會シタ上ニ願ヒマス」トイフタノデ

アツタ。先生ハ「君モ大學ヲ出タ以上ハ紳士デアアル。紳士タル以
 上ハ自分ノコトハ自分で決定サレタイ。今夜考ヘテ明朝返シテ
 貰ヒタイ」トノコトデ殆ド強制的デアツタノデアアルコレハ全ク
 新シイ大學ノ發展ヲ思フテノコトデアツタノデアアル。私ハ一夜考
 慮シタ。地圖ヲ出シテ見タリ郷里ノ友人タル川上漸兄（現慶應大
 學醫學部教授）ト同宿シテ居ツタ故ニ同兄ト深更マデ熟議シテ見
 タガ結局御指命ヲ承ハルコトニ定メテ自宅ヘハ事後ノ承諾トイッ
 タヤウノ形式デ翌朝「行キマス」ト申上ゲタノデアツタ。若イ大學
 ノ出身者タル私モ亦母校ノ發展ノ爲ニ大ニ覺悟セネバナラヌ情勢
 デアツタ。渡鮮後ハ平壤ノ同仁會病院ヲ受持チ兼ネテ同院ノ鮮人
 醫學校ヲ擔當セネバナラヌコトニナツタ。渡鮮後一年半目ノ冬一
 東京ニ家族ヲ置イタノデ歸ツタコトガアツタ。京都デ伊藤先生ヲ
 塔之段ノ御邸ニ訪問シタトコロ大變ニ喜バレテ歡迎ヲ受ケ御馳走
 ニ預カツタ。「シツカリヤレ、醫育事業ハ面白イ將來政府ニ移管セ
 ヲ」トノオ話デアツタ。其後明治四十三年秋日本ト韓國トハ併合
 サレ幸ニ私ハ京城ニ轉ジ政府ノ醫育事業ヲ繼承シ其後平壤ト大邱
 トニ設ケテアツタ醫學校ノ醫學生ヲ全部京城ニ引キ取ツテ官費デ
 教育ヲ施シタ。此ノ如ク私ハ自己ノ興味カラ主トシテ醫師養成ト
 イフ事業ニ專念スルコトニナリ自然外科ノ専門ヲ捨テ、終フコト
 ニナツタ。此ノ如ク私ハ故伊藤先生ノ御高庇一ヨリ世ノ中ヘノ門
 出ニ進ンダノデアアル。

一、何年前デアツタカ十數年前ト思フ記憶ハ聊カボンヤリシテ居ル

ガ伊藤先生ハ滿洲醫學會總會ニ特別講演ニ出デニナル途中京城ニ御立寄りニナツタコトガアル。私ハ京城驛當時南大門驛トイツタガ同僚ノ鶴田善重兄(目下樺太廳ノ醫院長)ト共ニ御出迎ヘ申シタ折「先生荷物ノコトハ宜シウ御座イマスカ」ト御尋ネ申シ上ゲタ處「宜シイ大丈夫」ト仰言ラレ直ニ朝鮮「ホテル」ニ御伴ヲシタコトガアル。「ホテル」ニ到着キニナルト「オヤ大切ノ講演ノ原稿ヲ入レタ手下ゲ鞆ヲ忘レタ」トノオ話デソレハ大變ダト「ホテル」カラ電報ヤ電話デ色々照會シテ吳レ漸ク新義州ノ驛長室ニ保管シテアルトノ報ヲ得タノデアツタ。其時先生ハ私ニ「君ノ顔ヲ見タモノダカラ宅ニ歸ツタヤウナ氣ニナリ何モカモ忘レタ」ト打與ゼラレタ。(昭和四年七月稿)

京大 府大 外科雜誌抄讀會

○四月二十七日午後六時半

於樂友會館

- 一、心臟穿刺ニ依ル瓦斯壞疽胸
- 二、小兒火傷ノ「タンボン」酸療法
- 三、手術後ニ於ケル尿閉並ニ腸麻痺ノ本態並ニ治療ニ關スル臨床的補遺
- 四、膽石疝痛發生ニ就テ
- 五、尿中ノ血液検査法
- 六、葡萄糖液ニヨル外傷性腦壓昂進ノ治療ニ就テ

八 田君
淺 井君
仲 井君
上 村君
阪 本君
西 田君

綜 說

- 七、骨及ビ關節結核ニ於ケル早期授動ニ就テ
- 八、十二指腸内容ノ検査法
- 九、膽囊「レントゲン」寫眞ノ錯誤ニ就テ
- 十、腋下靜脈並ニ鎖骨下靜脈ノ所謂外傷性血栓ニ就テ
- 十一、胃、十二指腸潰瘍ノ糖療法
- 骨折ノ非觀血的療法
- 五月三十日午後六時半
- 一、生理的食鹽水ノ靜脈内注射ニツイテ
- 二、膽囊影寫ノ一新法
- 三、輸尿管下部狹窄ノ成因
- 四、持續的酸洗滌ニヨル膀胱結石ノ溶解
- 五、兩側腎臟結石手術ニツイテ
- 六、部分的胃切除及ビ胃腸吻合後ニ於ケル腸内細菌發育狀態ノ變化
- 七、胃及十二指腸潰瘍ノ診斷及ビ其外科的所置ニツイテ
- 八、胃及ビ十二指腸潰瘍ニ於ケル皺襞「タンボン」ノ經驗
- 九、十二指腸瘻及糞瘻ノ治療法
- 十、脊椎「カリエス」ノ日光療法
- 十一、一般の再生「ホルモン」ノ固有性質

福 間君
木 幡君
岸 君
半 井君
山 根君
吉 益 講 師
池 田君
顏 君
神 原君
根 本君
高 橋 松君
角 田君
仲 田君
大 野君
高 橋 靜君
高 橋 靜君
中 尾君

十三、蹠骨々端炎
十三、鼠蹊「ヘルニヤ」根治手術後ノ同側股

内 田君

十四、「ヘルニヤ」發生ニツイテ
初生兒ノ幽門狹窄症

武 野君
林 君

一一一〇 (第四號 三〇六)

會 報

入 會

- 佐久間 榮次郎 新潟市東堀前通五間町
- 喜多 孝 慶 大平田市三井三池鑛業所醫院外科
- 高木 憲 次 東京府下田端四四五
- 岩本 正 樹 仙臺市北三番町五十一
- 小林 正 嗣 長岡市長岡病院外科
- 泉山 幸 吉 宮城縣石卷町南野山十六

伊 藤 一 生 愛媛縣吉田町吉田病院外科

轉 居

- 多 賀 官 行 戸畑市泥田製鐵所病院出張所外科
- 佐々木 金太郎 山形縣飽海郡酒田町寺町
- 伊 藤 肇 鳥取市本町一丁目一八
- 武 野 周 一 島根縣濱田町興仁會病院